

低周波音対応事例集

平成 20 年 12 月

環境省水・大気環境局大気生活環境室

目 次

	(頁)
はじめに.....	1
1. 事例集の使い方.....	3
2. 低周波音に係る苦情対応の進め方.....	4
3. 苦情対応事例.....	14
4. 事例に関するまとめ.....	176
(巻末資料)	
巻末資料1 固定発生源の発生源側で観測された低周波音の周波数特性.....	付-1
巻末資料2 低周波音の対策方法の概要.....	付-9

はじめに

環境省では、平成16年度に地方公共団体における低周波音問題対応に役立ててもらうため、「低周波音問題対応の手引書」（以下、「手引書」という。）を作成し、低周波音に関する苦情申し立ての受付から解決に至る道筋における、具体的な方法や配慮事項、技術的な解説などを示しております。また、それをもとに各地で、都道府県及び市区町村の担当者に対して、低周波音に係る苦情対応が円滑かつ的確に行われるよう、低周波音に関する評価方法などの講習会を開催してまいりました。

しかしながら、騒音と異なり、低周波音については、発生状況の把握・測定・評価等が難しい場合が多く、講習会のアンケートにおいても、問題が発生した際における対応方法に関する質問や、各地方公共団体における対応事例を公表して欲しいという要望が多く寄せられました。一方で、手引書が公表され4年が経過し、地方公共団体が手引書を活用するなどして、低周波音の苦情に対応した事例が蓄積されてきました。

そこで、全国の地方公共団体にご協力をいただき、今後、低周波音問題に関する苦情対応の参考となる事例を集め、さらなる低周波音問題への対応に資するため、事例集としてとりまとめました。事例集に掲載した事例は、実際に地方公共団体に寄せられた低周波音の苦情に対して、どのように状況を把握し、測定を行い、測定結果をどのように評価し、結果を受けてどのように対応したのか等について示しています。この事例集が低周波音問題に対応する地方公共団体担当者の皆様に、有効に活用されることを希望する次第です。

最後に、事例集作成にあたり、アンケート・ヒアリングにご協力いただいた地方公共団体及び本冊子の取りまとめにあたっていただいた（財）小林理学研究所に対し、深く感謝申し上げます。